



## クラウドファンディング第4弾を公開！

九州大学は READYFOR 株式会社と提携し、クラウドファンディングに取り組んでおり、現在7件のクラウドファンディングが成立、1件は挑戦中です。

この度、新たに1件のプロジェクトについて公開し、支援の受付を開始しました。今回は、河口洋一郎氏の作品を九州大学に常設展示するためのプロジェクトです。

次の百年後の世界、未来、夢を育てるみなさまのお力添えを心よりお待ちしております。

九州大学クラウドファンディング特設サイト (READYFOR 株式会社 提供サイト)

[https://readyfor.jp/lp/kyusyu\\_univ/index.html](https://readyfor.jp/lp/kyusyu_univ/index.html)

## 九州大学椎木講堂に世界的アーティスト河口洋一郎氏作品を展示したい！

■プロジェクト責任者：九州大学理事・副学長 安浦寛人  
九州大学大学院芸術工学研究院 教授 清須美匡洋

■目標金額：300万円

■募集期間：令和元年9月30日（月）まで

■概要：

九州芸術工科大学（現九州大学）出身で、世界的に著名なサイエンスアーティスト河口洋一郎氏の作品を九州大学伊都キャンパス内に“世界初”常設展示したい！という趣旨のもと、貴重な美術品の輸送や長期の展示に耐える環境を整えるための費用を集めたいというプロジェクトです。皆様からのご支援をお待ちしております。



▲今回常設展示する予定の作品

### Profile

河口洋一郎／東京大学名誉教授、サイエンスアーティスト



種子島生まれ。  
1976年CGの黎明期よりCG（コンピューターグラフィックス）によるプログラミング造形の研究に着手。数値アルゴリズムにより導き出された技術手法による独自の作品群で世界的注目を集める。  
2013年に紫綬褒章を受賞。文化庁メディア芸術祭フェウンダー、初代総合審査員長。現在、DCAJ会長、霧島アートの森館長や多数のメディア系大会審査員長等を勤める。

※詳細につきましては別添資料をご覧ください。

■プロジェクトに関するお問い合わせ

担当者：清須美匡洋

所属：芸術工学研究院

TEL：092-553-4441 E-Mail：kiyosumi@design.kyushu-u.ac.jp

【制度に関するお問い合わせ】

財務部財務企画課総務係

TEL：092-802-2335 FAX：092-802-2346

E-Mail：zassomu@jimu.kyushu-u.ac.jp

# 世界的サイエンスアーティスト 河口洋一郎の作品を 九州大学椎木講堂に常設展示。 —— 5億年後の生命体 ——

"Ficco" Series, 2007-09: 赤々と盛光を放つ不思議な魚形生命体は、宇宙空間でのサバイバル能力が高い進化の能力を備えている。

表現科学展 一知のサバイバラー 2009年1月23日-2月8日 湯島聖堂

**目標金額：300万円** クラウドファンディング **寄附型 挑戦中!**

集まった金額は、河口洋一郎氏の作品を九州大学伊都キャンパス内に常設展示するための費用の一部に充てられます。ご支援方法は裏面をご覧ください。

**[ご支援締切日] 2019年9月30日(月) 23:00**

※期間内に目標金額に到達しなかった場合支援者に全額返金されます。  
※何口からでもご支援いただけます。

今回、九州出身で東京大学名誉教授でもあり、世界的に著名なサイエンスアーティスト河口洋一郎氏の作品を、九州大学伊都キャンパス内椎木講堂2階ホワイエに常設展示いたします。

九州大学は、平成15年に九州芸術工科大学(昭和43年設立)と統合し、我が国でも数少ない芸術系の学部を持つ総合大学として発展しています。特に、近年のデザイン思考など芸術と様々な科学技術分野の融合は、新しい社会変革の潮流ともなっています。この度、九州芸術工科大学出身の河口洋一郎東京大学名誉教授より、作品の寄託のお申し出があり、本学関係の作品を貴重な芸術資産として広く学生や教職員、さらには市民の皆様と共有するため、椎木講堂のホワイエに展示することになりました。河口先生は、芸術選奨文部科学大臣賞、紫綬褒章、ACM SIGGRAPH Distinguished Artist Awardなど数多くの賞を受賞された世界的なコンピュータグラフィックアーティストです。

河口先生は、昨年、東京大学を定年退職され、その後も世界各地で精力的に作品展を開催されておられます。母校でもあり出身地(鹿児島県種子島)でもある九州に作品を常設展示したいとの思いから、本学への寄託をお申し出いただきました。久保総長および安浦理事が、河口先生と相談して、作品およびその展示場所を決めました。芸術工学研究院の清須美副理事の尽力もあって、世界初の河口作品の常設展示が実現します。河口先生のコンピュータグラフィックを駆使した独創的な宇宙生命体の作品は、若い学生たちの創造性に大きな影響を与えることを期待しています。



左：九州大学理事・副学長 安浦 寛人  
右：九州大学芸術工学研究院 清須美 匡洋



九州大学

私、河口は九州種子島の出身で旧九州芸術工科大学、現在の九州大学を卒業しました。東京大学で20年以上教鞭をとり、サイエンスアーティストとして現在国内のみならず、世界中を飛び回る日々ですが、九州大学大橋キャンパスでの学生時代の思い出も数々多くあります。

このたび、九州大学久保総長、安浦理事のはからいで、私の作品を日本および世界で初めて、九州大学伊都キャンパス椎木講堂に永久常設展示していただくことになりました。私としては本当にうれしく、感慨深いものとなります。

九州大学の皆様のみならず、九州地域の皆様にも愛される作品として応援していただき、こよなく大切にしていだければ、この上ない幸せです。

2019.7

サイエンスアーティスト  
河口 洋一郎 (霧島にて)

## Profile

河口 洋一郎 / 東京大学名誉教授、サイエンスアーティスト

種子島生まれ。

1976年CGの黎明期よりCG(コンピュータグラフィックス)によるプログラミング造形の研究に着手。数理アルゴリズムにより導き出された技術手法による独自の作品群で世界的注目を集める。

インタラクティブアート・ジェモーション(Gemotion)の研究作品は後にVR/ARへの応用やプロジェクションマッピングの世界に多数の優秀な人材を送り出した。

ベネチアビエンナーレ'95日本館代表作家。またロレアル大賞など、国際賞のグランプリを1980年代から多数受賞。Siggraph'10でアーティストアワードを受賞。2018年にはフランスBNN Prix D' Honneur 栄誉賞、さらにSiggraph Academy 殿堂入りを果たす。(アジア人初)国内では、2013年に紫綬褒章を受章。

文化庁メディア芸術祭フェウンダー、初代総合審査委員長。現在、DCAJ会長、霧島アートの森館長や多数のメディア系大会審査委員長等を勤める。



ご支援いただいた方に、プレゼントをご用意いたしました。(先着順)

30,000円ご寄附の方

河口氏サイン入り限定作品フォト記念品

[ 50セット ]

50,000円以上ご寄附の方

河口氏サイン入り限定作品フォト記念品

+ 展示台銘板への氏名刻印 [ 30セット ]

※上記の金額に限らず、ご寄附は可能です。

## ご支援方法：クレジットカード / 銀行振込

ご支援はWEBサイトから受け付けております。下記サイトにアクセスしてください。

九州大学へのご寄附については、税制上の優遇措置が受けられます。

詳しくは下記サイトにアクセスしてご確認ください。

<https://readyfor.jp/projects/exhibition-kyoichiro-ky>

インターネットでご支援が難しい場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

清須美 匡洋 : kiyosumi@design.kyushu-u.ac.jp

レディーフォー 河口洋一郎

検索

カシャット!と2秒!



Ready for